

オフィシャルレポート

2026年6月2日
JCOM株式会社
株式会社囲碁将棋チャンネル

錦鯉・豊島将之九段と子どもたちが将棋ケーキでお祝い！
「J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会 第15回大会開催記念イベント」
大会参加者たちへエール「将棋を楽しんで、一緒に指せる仲間を見つけて」



© J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会

JCOM株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)と株式会社囲碁将棋チャンネル(囲碁・将棋チャンネル、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山口 哲史)は、2026年6月1日(月)、日本将棋連盟・将棋会館にて「J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会 第15回大会開催記念イベント」を開催しました。

本イベントには、お笑いコンビ・錦鯉の長谷川雅紀さん、渡辺隆さん、プロ棋士の豊島将之九段、さらに大会参加者の小中学生が登壇。「第15回J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会」と錦鯉の結成15年目を祝い、会場は終始笑顔と熱気に包まれました。

イベント冒頭では、錦鯉のお二人が将棋の駒「王将」「歩兵」をモチーフにした特別な被り物姿で登場。長谷川さんは「なんで僕が王じゃないんですか！」と不満げな表情を見せ、渡辺さんが「どう見ても顔が歩だもんね」と切り返し、会場を沸かせました。続いて、昨年末の銀河戦決勝で藤井聡太竜王・名人を破り、見事6年ぶり2度目の優勝を果たした、プロ棋士の豊島将之九段が登場。長谷川さんは「隠しきれないオーラがでていますね」と豊島九段の登場に喜び、渡辺さんも「将棋界の天才ですね！まさのりさんの逆だ！」とコメント。将棋界トップクラスの実力者の登場に会場の雰囲気はさらに盛り上がりました。

15回目を迎える大会にちなみ、それぞれの「15年前」を振り返るコーナーでは、錦鯉結成当時の写真を披露。渡辺さんは「お互い鳴かず飛ばずの時期だった」と結成当時の苦勞を滲ませ、長谷川さんも「その頃はまだ衣装が買えるお金もなく、家にある派手な洋服を衣装にしていました。将棋の駒を被ることになるとは思わなかったです！うれしい仕事をありがとうございます」と当時を懐かしみました。豊島九段はプロ5年目の21歳頃の写真を披露し「この頃タイトルを取ることが目標だった、時間がかかりました。漫画『3月のライオン』の中に自分の対局が出てきて嬉しかったこともありました」と大会との縁も振り返りました。さらに15年前の大会開始当時の写真も披露され、第1回大会で優勝し、現在プロ棋士となった瀬ヶ口笑保人四段の写真も紹介。プロ棋士への登竜門にもなる歴史ある大会の歩みを辿りました。

最後に、錦鯉の結成15年目と大会の開催15周年を記念して、豊島将之九段より“将棋ケーキ”がプレゼントされました。“錦鯉”の文字が描かれたスペシャルなケーキを見て、長谷川さんは「うれしい！すごい！錦鯉の駒が飾られている！」と喜びを表現しました。豊島将之九段は、本大会に出場する子どもたちに向けて、「将棋を楽しんで、一緒に将棋を指せる仲間を見つけてほしい」とコメント。子どもたちへ温かいエールを送りました。

【子どもたちから登壇者への質問コーナー 抜粋】

■僕は将棋以外に好きなことがたくさんあります。皆さんが、将棋やお仕事以外に好きなことや得意なことはありますか。〈小学4年生〉

豊島九段：観る専門ですが、バスケットボールが好きです。

渡辺さん：僕はお酒が好きですね。

長谷川さん：飲んだことある？これから大人になったら飲めるよ。僕はUFOが好きだよ。YouTubeとかでUFOを見るのが好き。宇宙人見たことある？

渡辺さん：どっちが大人なんだよ。

■（豊島先生が）対局して、（錦鯉さんが）一緒に仕事をして、「楽しい」と感じる方はどなたですか？〈小学6年生〉

豊島九段：藤井（聡太）さんと指すのが楽しいと言えたらカッコいいのですが。自分と同世代の棋士は、子ども（の頃に出ていた）大会からの付き合いでプロ棋士になった方もいるので気心が知れてほっとします。

渡辺さん：同期や知り合いの芸人と一緒だとほっとします。似ていますね。

長谷川さん：ゾウとかキリンとか動物。人間には怒られるけど、動物は怒らないでしょ。水族館も好き！

■重要な大会の決勝で負けてしまうことが多いです。大一番で力を発揮するための準備や心構えを教えてください。〈中学1年生〉

豊島九段：緊張を前向きにとらえています。緊張しているから発揮できる力もある。

渡辺さん：M-1の決勝に出た時点ですげーな、大したもんだなあと思いました。あとは楽しもうと思ったら結果が出ましたね。

長谷川さん：僕はどうでもいいやと。いい意味で開き直るといえるか、「どうでもいいや、やるだけやったんだ」という気持ちで臨みました。緊張したら固くなる方もいるからね。

渡辺さん：自分で自分を認めてあげるといいよ。緊張は悪いことじゃない。

■将棋の対局や学校のテストで時間がなくなってくると、つい焦ってミスをしてしまいます。どのように対処していますか？〈中学1年生〉

渡辺さん：ミスはします。ミスは寝かせておけば面白い話になる、職業柄取っておく。

豊島九段：一局の中でミスは出ますが、その中でどのようにリカバリーするかが重要。焦ってしまっても直観を信じてもいいのかなと思います。

「J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会」について

J:COMおよび囲碁・将棋チャンネル主催、日本将棋連盟共催、白泉社協力にて、2012年から継続して開催している子ども向け将棋大会です。人気漫画『3月のライオン』とのコラボレーションを通じて、将棋の楽しさを広く伝えるとともに、将来の棋士を目指す子どもたちの挑戦の場を創出してきました。

本大会は、全国大会出場を目指す上級者向けの「全国クラス」と、将棋を楽しむ初心者向けの「交流クラス」を設け、各地区大会の募集人数合計は、のべ1,186名を予定しています。将棋のルールが分かる小中学生であれば参加費無料で応募でき、小中学生が学年の垣根なく、実力に応じて挑戦できる裾野の広いことが大きな特徴です。第1回大会の優勝者・瀬ヶ口 笑保人四段や、第5回大会の3位入賞者・加藤 結李愛女流二段をはじめ、全国大会出場者からプロの棋士・女流棋士を輩出しています。

さらに、本年は大会の15回目を記念し、初の北陸大会を実施します。あわせて、「令和6年能登半島地震災害義援金」の募金を各地区大会で実施します。

■大会公式サイト：<https://www2.myjcom.jp/special/user/event/kids-shogi/>

<イベント概要>

イベント名	J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会 第15回大会開催記念イベント
開催日	2026年6月1日(月)
開催会場	日本将棋連盟将棋会館(東京都渋谷区)
登壇者	錦鯉(長谷川雅紀さん、渡辺隆さん)、豊島将之九段、大会参加者の子どもたち



© J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会